

カリキュラム計画 資料 「情報環境学部で学ぶために」

2014年4月 宍戸 真（教学委員長）

注：空所に適した語句を記入し、メモを取りながら聞くこと。

高校までとの違い

- 次に何をするか、()で考えて行動.
- ()学習

履修の心構え

- 最初の回は(). 原則として出席しないと()できない.
- 毎回()が前提. やむをえず()するときは、必ず「欠席届」(p.)を提出.
- ただし、教室にいただけでは単位は取れない. ()をとり、見直して().
- 分からないことはそのままにせず、積極的に()する(p.).
- 不正行為をしない. (p.)

大学からのサポートと情報伝達

- ()と、ポータル()は毎日チェック(p.).
- 個別連絡などは、()の電子メール(学籍番号@ms.dendai.ac.jp)で.
- 学生アドバイザー(p.)
 - 毎セメスター履修登録前の()には、必ず来る.
 - そのほか何かあれば随時相談. 居室とメールアドレスは p.()
- 学生相談室(p.)
 - 学業に限らず様々な悩みについて、プライバシーは保護されるので気軽に. 詳しくはパンフレットを
- 学習サポートセンター(p.)
 - (), (), プログラミング、PC 相談. 詳しくはパンフレットに

この学部の教育システム

- ()は無いが、()がある.
→何をいつ履修するか、()考える. そのための「()」
- まずは自分の進路を考える. 履修計画の手がかりは(), プロジェクト科目の()、事前履修条件と().

この学部の「コース」

- 目指す将来に向けて何を学ぶかの、およその().
- 卒業条件に「()」(p.)がある. それを満たした上で幅広く学んでほしい.

必修は無いが、科目を学ぶ順番はある

- 事前履修条件(p.)と、履修を推奨するセメスター(p.)の表中)

注意：履修制限(p.)

- 一つのセメスターで履修できる単位数の(). GPA (p.)で決まる
- 単位を落としすぎると、取り戻すのは難しい. 場合によっては() (予備) 勧告も(p.)
- ()は毎セメスター見直す. そのために学生アドバイザーとの()がある.

プロジェクト科目

- 各研究室に所属して実際的な()に取り組む
- 3年目「基礎プロジェクト」: 着手条件は()単位以上(p.)
- 4年目「卒業研究・開発型プロジェクト」: 着手条件は()単位以上 (内訳あり、p.)
 - 卒業見込み条件 (6セメスター終了時、p.())と同じ
- 「年次縦断型 PBL」は()履修できる
- 卒業条件は()単位「以上」(内訳あり、p.())

進路

- 就職あるいは大学院進学 (p.)
- 理工系では()の学位は重要. 特に研究開発系
- 進学や就職のため、()と()・開発型プロジェクトは事実上必修